

耳鼻咽喉科 後期研修プログラム

1. 診療科の特色

トヨタ記念病院は地域の中核医療施設であり、当科においても地域医療連携により、多彩で豊富な症例の紹介を受けています。救急医療施設も充実していることから、救急症例も多く、急性期疾患、慢性疾患、手術症例、悪性腫瘍など、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の疾患をかたよりなく経験することができます。また日本耳鼻咽喉科学会研修指定施設であり、認定専門医の取得に必要な、専門知識と臨床技能を得ることができると考えています。

2. 研修期間

卒後2年間の前期研修を終了した後、3年間の後期研修を行う。

3. 目標

【一般目標 (GIO)】

安全で信頼されうる医療を提供するために、耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医として必要な、知識・技術・心構えを修得する。患者様が満足できる、人間性豊かな診療態度を身につける。

【行動目標 (SBO)】

外来診療に従事し、問診・所見のとり方、治療方針の立て方について習得する。

鼻咽腔・喉頭内視鏡検査を習得する。

聴力検査、平衡機能検査、頭頸部画像検査、電気生理学的検査などの診療に必要な検査を実施し、検査結果の解釈を習得する。

救急疾患として多い、鼻出血・めまい・異物などに対して、適切な処置ができる。

主治医として入院患者を受け持ち、上級医と共に病態を把握し、治療計画を立案する。

患者とのコミュニケーションを大切にし、十分なインフォームドコンセントのもとに治療を行う。

上級医とともに手術に参加し、術前・術後管理を行う。また段階的に執刀医となり、標準的な手術手技を習得する。

社会人としてのマナーを磨き、コメディカルスタッフと良好な信頼関係を築く。

常に研究心をもち、文献検索、学会参加などによる情報収集に努め、ディスカッション、プレゼンテーション能力を磨く。

後期研修1年目で習得すべき項目

- ・ 外来一般診療
- ・ 救急疾患への対応
- ・ 入院患者の全身管理

- ・鼻咽腔内視鏡検査、聴覚検査・平衡機能検査・頭頸部画像検査の解釈
- ・鼓膜切開、鼓膜チューブ留置術、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、気管切開術
- ・患者・家族へのインフォームドコンセント

後期研修 2 年目で習得すべき項目

- ・内視鏡下鼻副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、喉頭微細手術、顎下腺摘出術
- ・頭頸部悪性腫瘍の治療計画の立案、化学療法、全身管理

後期研修 3 年目で習得すべき項目

- ・鼓膜形成術、耳下腺腫瘍手術、頸部良性腫瘍手術

4 . 方略

【週間スケジュール (例)】

	月	火	水	木	金
午前	外来 / 病棟	外来	病棟	外来	外来
午後	手術	検査外来	手術	検査外来	手術
夕方		症例検討会			

【学術活動】

- ・全国規模の学会に年 2 回参加する
- ・日耳鼻東海地方部会 (年 4 回) に参加する
- ・年 2 回以上の学会発表を目標とする
- ・年 1 遍以上の論文発表を目標とする

5 . 評価

- ・自己評価：日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の申請書に準じて、経験した症例、手術を記載し、到達度を確認する。
- ・指導医による評価：半年ごとに指導責任者が面接を行い、目標の設定と到達度について評価をする。